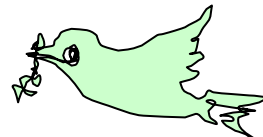




同窓会会長 吉田和郎（同福大垣・99 信徒奉仕卒）

東海聖書神学塾の同窓会総会を、山の日8月11日（月）に開催したいと思います。
ぜひご参加ください。

新型コロナウイルスの感染が広がってから総会開催を中止していましたが、昨年、
久しぶりに再会しました。少人数でしたが今年もよろしく。東海聖書神学塾の卒業生
の方で少しでも関心のある方はぜひご出席をお願いします。



昨年、私の10月を紹介しましたが、今回、私の6月を紹介します。

私（吉田）は、静里営農という農事組合法人の代表をしています。最近は気象変動
が激しく、農作業に大きな影響が出ています。その中で主の恵みを覚えています。

「あなたの道を主にゆだねよ。主に信頼せよ。主が成し遂げてくださる。

（詩編 37：5）」

今年は、1月、2月が寒く、小麦の穂が出るのが昨年に比べ遅れました。収穫も3
日ほど遅れ、6月6日から始まりました。ところが当初の天気予報は、8日頃から雨
でした。そして、その後はずっと7日以上☂マークでした。最低でも小麦の収穫は、
晴れた日で4日間かかります。その時点で私の頭の中はほぼ真っ白になりました。

「あなたの道を主にゆだねよ。主に信頼せよ。」この言葉を主の御心と覚え、

本当に祈る気持ちで作業を始めました。天気予報はあまり見ないようにしました。
なんと8日（日）は、雨が降りませんでした。主が守っておられるなと感じていまし
た。小麦の収穫は、少なくとももう1日必要です。

6日に開始した小麦の収穫はコンバインという機械で行いますが、雑草が多く、何
度も何度も作業を中断し、「この機械じゃもうやっとならない！」と一時作業を放棄し
た人もいました。大変でしたが、なんと9日まで天候が保たれ、しかも9日の作業場
所には殆ど草がなく、相当早いスピードで作業が進み、午後4時には終了しました。
作業終了と同時に大雨となりました。ハレルヤ！

同窓会総会 開催案内

2025年8月11日（月・祝）午後2時～午後3時頃まで
＜東海聖書神学塾D室にて開催＞（連絡なしで直接来られても構いません。）

参加者連絡先：関口 廣志 Tel 080-4768-2312

Mail: seki.isaiah40-31@kbh.biglobe.ne.jp

令和の米騒動と令和の百姓一揆（吉田和郎の私見です。）

昨年、5kg 2,000円台のお米の値段が、4,000円台になりました。マスコミや消費者からは、なぜ値段が下がらないのか、誰かが悪さをしているのではないかと厳しい声が相次ぎました。犯人探しがありました。大きな観点から見れば、だれも悪くないと思います。（ただ大きなミスマッチを感じます。）

よく考えてみると、昨年の6月の日本全体のお米の在庫は、その時点で40万トン不足していると政府が発表していました。（おそらく一番大きな原因は、コロナが落ち着いて外食産業が活発化したこととインバウンドではないかと私は思っています。）8月頃になると、スーパーに米がないという情報が飛び交いました。そのため、米屋さんが直接農家に買いに走りました。当然、農協が買う値段よりも高い値段です。

ところが、なぜか政府は、「9月に新米が出てくると、米不足は解消する。」と言いました。この考えは、本当に不思議です。日本全体で、年間約660万トン生産されとしても、「6月の時点で40万トン不足していますよ。」と言っていたのですから、少なくとも、9月に、50万トン以上増収の大豊作にならないければ、穴埋めできないはず。そんな大豊作とは、だれ一人言っていない。少々の備蓄米放出では何も変化がないのは当然です。

さて、そんな状況の中で、3月30日に「令和の百姓一揆」が実施されました。トラクターや軽トラックを都会の真ん中に集めて全国各地で農家が行進しました。

「今のままでは農家がつぶれてしまう。日本の農業はダメになってしまう。」という農家の悲痛な叫びでした。ところが、殆ど、真剣に通じあけていません。

実は農家は、数年前から、このままではやっていけない、農家がつぶれてしまうと悲鳴を上げていました。一つの例としてお米の場合、2020年販売額（概算金）12,100円/俵⇒9,800円⇒10,500円のような状態でした。（農家は60kg=1俵で考えています。生産者価格60kg12,000円は、玄米5kg1,000円になります。）

円安のために外国から輸入する肥料の原料などが値上がりしました。燃料もダンボールも機械も全部上がりました。簡単に言うと、経費は1.5倍に。販売価格はマイナスになりました。農家がもうだめだと言っても、だれも聞いてはくれません。「令和の百姓一揆」も空振りしそうです。

お米屋さんが直接農家に買い付けし出したので、農協（全農）がびっくりして概算金を上げました。11月16,600円、なんと3月に追加概算金5,600円。こんなことははじめてです。農家の経営がひっ迫しているからではありません。今年の秋に、農協に出荷してほしいからという農協の事情です。（金額は地元の農協の参考です。）

幸いにも、この追加概算金で、古くなったトラクター（17年使用）とコンバイン（22年使用）を更新することができました。主の恵み、感謝！！ハレルヤ！！

今年の農作業も本当に奇跡、奇跡の連続でした。多くの人々の上に、主の恵みが豊かにありますように。アーメン。

